

「ぐんま方式」の学級編制により、たくましく生きる力をはぐくむ



平成29年度
ぐんま少人数クラスプロジェクトの充実



1 趣 旨

少人数学級編制や少人数指導を中心に、児童生徒の発達の段階に応じた指導体制を充実させることにより、基本的な学習習慣や生活習慣の確立を図り、基礎学力の定着を目指す。

2 方 針

＜(1) さくらプラン＞

小学校第1・2学年における30人以下学級編制の実施

小学校第3・4学年における35人以下学級編制の実施

⇒ 発達の段階に応じたきめ細かな指導体制を充実させることにより、児童の基礎学力の定着や社会性の育成を図る。

＜(2) わかばプラン＞

中学校第1学年における35人以下学級編制の実施

⇒ 学校生活に適應するための支援体制を強化するとともに、一人一人へのきめ細かな指導を充実させることにより、基礎学力の向上を図る。

＜(3) 英語教育アドバイザー教員（EAT）＞

小学校における英語教育の推進

⇒ 小学校英語の授業や指導計画等のモデルを普及・啓発することを通して、教員の指導力及び児童の英語によるコミュニケーション能力の向上を図る。

＜(4) 学力向上のための特配教員の活用＞

各学校の経営構想に基づいた学力向上対策の推進

⇒ 少人数学級編制を基盤とし、きめ細かな指導の方法や体制を工夫改善して学力の向上を図る。

・ 各学校の学力向上委員会を機能させ、学力向上コーディネーターを中心に特配教員等を活用しながら、学力向上対策を推進する。

＜学力向上のための特配教員の活用方法＞

○ 「小学校高学年における教科担当制」及び「小学校における英語教育」の推進

○ 少人数指導やティーム・ティーチングなど、習熟の状況に応じたきめ細かな指導の充実

3 内 容（ぐんま少人数クラスプロジェクトの全体像）

校種	学 年	内 容	H29年度配置数	県単(内数)		
小 学 校	第1学年	学 力 向 上 対 策 の 推 進	さくらプラン 30人以下学級編制	75校 75人	(18人)	
	第2学年			128校 130人	(39人)	
	第3学年	学 力 向 上 対 策 の 推 進	さくらプラン 35人以下学級編制	55校 55人	(55人)	
	第4学年			56校 56人	(56人)	
	第5学年			← 英語教育アドバイザー教員（EAT）	10校 10人(県単10人)	
	第6学年			← 学力向上のための特配教員（小学校）	242校 319人	
中 学 校	第1学年	わかばプラン 35人以下学級編制	60校 86人	(86人)		
	第2・3学年	← 学力向上のための特配教員（中学校）	142校 233人			

平成29年度予算額（県単）

さくらプラン… 818,850千円

英語教育アドバイザー教員（EAT）…51,500千円

わかばプラン… 545,900千円

合計…1,416,250千円